

令和2年度 第1回深谷市子ども・子育て会議  
議事要旨

日 時：令和2年9月28日（月）午前10時00分～午後12時21分

場 所：深谷市役所 本庁舎 3階 大会議室

出席者：立花 志起子委員、正木 佳織委員、粕谷 明委員、荒井 克明委員、後藤 高明委員、  
舟橋 康子委員、高木 早智子委員、神庭 ひろ子委員、佐藤 禎子委員、  
赤石 弘美委員、斉藤 実委員、細井 雅生委員、（12名）

欠席者：竹内 宏委員、戸野倉 和美委員、羽生 公洋委員（3名）

<配付資料>

- ・資料1 第1期計画進捗状況及び総括について
- ・資料2 深谷市立保育園の民営化について
- ・資料3 エンゼル保育園の利用定員変更について
- ・資料4 深谷市立幼稚園の利用定員の変更について

開会前に変更された委員の委嘱状交付

－ 1. 開会－

委員・事務局の自己紹介、資料の確認

－ 2. 会長挨拶－

細井会長

－ 3. 議事

規定により細井会長が議長となり議事を進行する

（1）第1期計画進捗状況及び総括について

事務局：資料1について説明

委 員：保育については、3，4，5歳については、充足しているようだが、0，1，2歳については、枠が足りていない状況であると見える。この状況についてどう考えるか。

事務局：今後については、0，1，2歳の低年齢児の確保策を、各保育園と協力して実施していきたい。

委 員：公立幼稚園については、確保量が多すぎるように感じる。また、保育とあわせて考えると、3，4，5歳児については、余裕がある状況の中、新たに3歳児を始

めても意味があるのか、その費用を、保育の0, 1, 2歳の確保のために使うべきではないか。

事務局：3歳児の受け入れは市の政策として決定したものである。深谷市は昔から公立幼稚園があり、時代の変化の中で、どうしていくかという話はこれまでもずっと議論してきている。しかし、幼稚園に対する地元住民の心情があり、幼稚園の廃園等が難しい。今後3年ごとに見直しを図っていくので、ご了承いただきたい。

#### (2) 深谷市立保育園の民営化について

事務局：資料2について説明

委員からの意見は特になし。

#### (3) エンゼル保育園の利用定員変更について

事務局：資料3について説明

承認を得る。

#### (4) 深谷市立幼稚園の利用定員の変更について ※(1)の議題と一緒に議論した

事務局：資料4について説明

委員：定員の数が多いのと、公立幼稚園数の適正化が必要ではないか。

事務局：定員については、実際の募集で想定以上の申込があった場合に対処できるように多くなっている。公立幼稚園数については、3年ごとに見直しを図っていくため、ご了承いただきたい。

#### 【子ども・子育て会議の意見】

これまでの公立幼稚園がどのような存在だったかということは大いに尊重しなければならないが、税金の費用対効果という問題は抜いて考えられない。今後の冷静な分析をお願いしたい。

#### － 4. その他

特になし。

#### － 5. 閉会－

会長：以上をもって、令和2年度第1回深谷市子ども・子育て会議を終了する。

(以上、終了)